

新潟・馬寄遺跡

うまよせ

- 1 所在地 新潟県加茂市大字加茂
- 2 調査期間 一九九七年(平9)三月
- 3 発掘機関 加茂市教育委員会
- 4 調査担当者 伊藤秀和
- 5 遺跡の種類 遺物包含地
- 6 遺跡の年代 古墳時代前期～近世
- 7 遺跡及び木簡出土遺構の概要



(加茂・新津)

馬寄遺跡は、加茂市街地に近接した扇状地端部の低地に立地している。本遺跡周辺部には、古墳～平安期の遺跡が多数存在する。今回の調査は、民間開発に伴い約一万㎡を対象に行なわれた確認調査である。約二m×五mの試掘坑を任意に設定し、約一二〇㎡の調査を行なった。明確な遺構は確認できなかったが、地表下約一・二mの暗青灰色粘質土層から、古墳時代前期

の土師器が多量に出土した。木簡は、地表下約四〇cmのところから出土したが、古墳時代後期～近世の遺物を若干含む層であること、同一試掘坑での共伴遺物がないことから、時期を特定できない。

8 木簡の釈文・内容

(1) 〓〓〓〓〓〓

(110)×22×4 039

赤外線テレビカメラで読解を試みたが、四ないしは五文字の墨痕が認められたのみで、釈読はできなかった。その形態から、付札木簡と考えられるが、詳細は不明である。

解説に際しては、新潟大学の小林昌二氏にご教示いただいた。

(伊藤秀和)

